

（様式第3号）

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、周知文を掲示している。パワハラ防止法研修を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働関係法規の法改正を経営者を含め、専門家の確認をとりながら共有している。									8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている(基準を満たす実習生に手当を支給)				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・入社時、作業変更時の労働安全衛生教育を実施。 ・食品を製造する職場のため、感染予防対策、転倒防止、機械器具への挟まれ防止の注意喚起を行っている。									8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・心の健康づくり計画に基づき、相談窓口の周知、長時間労働者の面接指導等の体制を整えている。																	
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	育児介護と仕事の両立支援、正社員転換制度を実施している。(技能実習生に日本語検定に対応した日本語の勉強会を定期的実施)					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	枝肉(牛・豚の屠畜後の肉)の格付を決める資格を定期的に取得(日本食肉格付協会)				4	5.5				8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム・有期雇用労働法等の改正に伴う見直しを行った。					5.5				8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	長野県職場いきいきアドバンスカンパニー上位認証(アドバンスプラス)の取得を目指している。										8							
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	ISO22000マネジメントシステムに則り、廃棄においても契約廃棄処理業者と連携し適切な運用管理をしている。											11.6	12.4		14.1			
	12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エコアクション21の取組の中で、電力・重油の利用量、CO2排出量を把握し、削減に努めている。									7.3					13			
	13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	LED照明への入替によりCO2・電気料の削減、防虫効果を推進									7.2 7.3				12.4	13.3			
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	該当なし。				3.9					6.3			11.6	12.4				
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	排水処理施設から出る汚泥(食品廃棄物等に該当しない)について、対比センターに処理委託し堆肥化することで、環境に配慮している。									6.6						15		
	16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	主要製品である「枝肉・加工肉」の製造過程で出る、「骨・脂」は食用の商品として活用している。													12.5		14.1		
	17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	加工室の洗浄は清潔を保つため節約は困難であるものの、靴洗浄槽の水量や、手洗い場の元栓の工夫などで削減を図っている。									6.4 6.6								

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21を2018年に取得、継続して運用している。			3.9					6	7								12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	エコアクション21に基づき、毎年、環境経営レポートを公表している(最新版 2020年)																		12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ										7.2										13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																				12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記、周知。																							16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記、周知。																							16	
24	公正な事業 慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	就業規則に明記、周知。																								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	就業規則に明記、周知。																							16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																									16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5						8											10 12 13 14 15 16 17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO22000(中野工場)マネジメントシステム、SQF(長野工場)により構築されている。																								
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	同上																								
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ																									
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元中学校の教員に対し、工場見学、異業種職業体験講座を実施				4						9		11	12			14	15			17			
33	地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ					4									11					14	15			17	
34	地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	信州りんごと信州牛に拘った、飼料供給、生産、加工、流通、販売を地域資源を重視したネットワークにより、より美味しく、安全安心な肉・加工品をお客様に届けている。									8	9		11	12	13									
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化し、周知している。(経営目標について、毎年3月に方針発表会で説明している。)										8	9											17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ISO22000、エコアクション21において法令順守を明文化し、遵守状況を評価している。																						16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	総務部長を責任者とし、総務部が専門部署として体制を整備している。																							16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	食品安全に関わる法令・要求事項を順守し、顧客に満足していただける製品とサービスを提供し続ける為に、食品安全マネジメントシステムの適切な運用により、維持、向上に努める。																					16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	今回のような感染症、災害等による材料の調達困難時、電力や水の供給の困難時などについての、対策はたてていますか？ ⇒ 特にありません。																							16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ISO22000やSQFの適切な運用により、安全・安心な食を消費者に提供																							16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	食品事故発生対応マニュアル、災害発生時対応マニュアルは策定済み												9		11		13 13.1						16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	若手管理職の外部機関研修参加・養成により、事業承継に取り組んでおります。											8	9											17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)